

令和7年12月17日

新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく行政備蓄用  
抗インフルエンザウイルス薬の備蓄量（11月分）について

新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬については、令和7年11月末までに約3,615万人分を確保。

○ タミフル（カプセル）

国 備 蓄	約355万人分
県 備 蓄	約429万人分
計	約784万人分

○ タミフルドライシロップ

国 備 蓄	約272万人分
県 備 蓄	約318万人分
計	約590万人分

○ リレンザ

国 備 蓄	約20万人分
県 備 蓄	約205万人分
計	約225万人分

○ イナビル

国 備 蓄	約733万人分
県 備 蓄	約712万人分
計	約1,445万人分

○ ラピアクタ

国 備 蓄	約88万人分
県 備 蓄	約87万人分
計	約175万人分

○オセルタミビル（カプセル・タミフルジェネリック）

国 備 蓄 約 118 万人分

計 約 118 万人分

○オセルタミビル（タミフルドライシロップ原液）

国 備 蓄 約 23 万人分

計 約 23 万人分

○ゾフルーザ

国 備 蓄 約 144 万人分

県 備 蓄 約 111 万人分

計 約 255 万人分

※ 都道府県別の内訳は別紙参照

※ 上記に加え、アビガンについても国備蓄約 600 万人分を備蓄している。

(別紙)

## 都道府県別の抗インフルエンザウイルス薬備蓄状況一覧（R7年11月末時点）

備蓄量(千人分)

No.	都道府県名	タミフル (カプセル)	タミフル ドライシロップ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	ゾフルーザ
1	北海道	198.4	139.3	171.4	189.0	36.7	
2	青森県	47.3	34.8	11.9	55.1	9.1	14.3
3	岩手県	46.8	33.4	6.0	61.3	6.6	10.2
4	宮城県	85.7	59.6	7.3	114.8	15.9	25.9
5	秋田県	39.1	27.1	9.2	40.8	7.1	11.0
6	山形県	41.3	24.9	10.1	53.8	7.6	12.1
7	福島県	70.2	38.0	17.6	97.2	13.3	21.1
8	茨城県	75.7	75.5	20.0	182.2	15.4	32.9
9	栃木県	62.8	50.8	16.2	104.5	13.6	22.1
10	群馬県	44.8	50.7	18.5	123.0	7.0	11.1
11	埼玉県	227.4	184.9	69.8	405.5	50.3	83.8
12	千葉県	232.1	158.2	59.7	309.0	43.0	71.6
13	東京都	200.0	364.4	837.2	1,261.4	140.2	93.5
14	神奈川県	359.3	214.4	84.2	449.0	62.6	104.5
15	新潟県	89.1	51.5	20.9	111.3	15.7	25.1
16	富山県	23.4	27.6	3.6	71.0	7.4	11.9
17	石川県	42.6	29.6	10.7	52.9	7.9	12.8
18	福井県	31.2	20.4	7.3	37.5	5.4	3.8
19	山梨県	29.7	21.7	11.6	47.4	5.3	
20	長野県	78.5	54.6	19.5	95.5	14.6	23.5
21	岐阜県	75.8	46.9	19.0	101.4	14.1	22.8
22	静岡県	138.8	95.7	34.8	172.5	25.7	41.8
23	愛知県	303.8	188.0	71.3	355.9	39.3	85.6
24	三重県	72.5	46.9	17.0	99.3	12.6	20.4
25	滋賀県	41.8	36.0	9.0	83.5	9.7	16.1
26	京都府	101.9	65.1	23.9	127.3	13.4	28.7
27	大阪府	306.6	178.4	121.2	545.6	60.6	9.1
28	兵庫県	187.9	137.0	51.4	338.6	19.6	18.0
29	奈良県	61.8	35.7	14.4	67.5	9.4	
30	和歌山県	36.4	25.7	8.9	43.9	5.0	10.7
31	鳥取県	22.4	13.0	5.3	35.4	3.9	6.3

No.	都道府県名	タミフル (カプセル)	タミフル ドライシロップ	リレンザ	イナビル	ラピアクタ	ゾフルーザ
32	島根県	27.1	18.0	6.4	42.9	4.8	7.6
33	岡山県	71.2	49.4	17.9	88.5	13.2	21.5
34	広島県	105.5	65.4	26.5	139.6	19.6	31.9
35	山口県	52.0	36.5	12.8	68.6	7.3	10.1
36	徳島県	28.2	19.9	3.0	42.3	5.2	3.0
37	香川県	36.9	22.6	9.2	48.0	6.8	11.0
38	愛媛県	54.6	36.5	12.8	60.8	7.3	15.4
39	高知県	28.3	18.6	8.6	38.0	5.0	8.0
40	福岡県	120.4	130.4	48.3	315.6	35.1	58.1
41	佐賀県	31.0	46.7	7.7	12.5	5.7	9.3
42	長崎県	40.1	36.2	12.6	85.8	9.5	15.1
43	熊本県	41.2	40.9	11.7	117.0	12.3	19.9
44	大分県	122.0	30.4	50.1	2.2	10.9	
45	宮崎県	43.8	29.1	10.3	68.4	4.0	12.3
46	鹿児島県	65.2	36.3	15.3	81.4	11.5	18.3
47	沖縄県	51.2	37.2	10.0	78.3	10.0	16.0
	計	4,294	3,184	2,052	7,123	866	1,108

計 約18,627千人分

注1) 各都道府県における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄は、各都道府県と製造販売業者との契約に基づき、計画的に納入される予定である。

注2) 上記都道府県備蓄分の不足が見込まれる場合には、都道府県からの要請に基づき、国の備蓄分を放出することとしている。

(11月末時点)

\*1 各都道府県が備蓄しているタミフルカプセル、タミフルドライシロップ（オセルタミビルリン酸塩）、リレンザ（ザナミビル）、イナビル（ラニナビル）ラピアクタ（ペラミビル）及びゾフルーザ（バロキサビル）それぞれの備蓄量（人數分）を掲載している。

\*2 抗インフルエンザウイルス薬の製造販売業者と各都道府県との契約に基づき、備蓄用として令和7年11月末までに納品された抗インフルエンザウイルス薬の数量を計上している。

\*3 県内に患者が発生した場合に備え、各都道府県が保健所等に配置換えをした抗インフルエンザウイルス薬の数量を含んでおり、数量は千人単位としている。